

実質化された人・農地プラン

注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
宇部市	厚東地区 (棚井下、棚井中、棚井上、立熊、 駅前、持世寺、温見、末信)	令和4年3月30日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	162.81ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	118.26ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	77.49ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	33.26ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	17.82ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.50ha
(備考)	

2 対象地区の課題

高齢化により農業者は減少しており、後継者がいる場合も他地区に居住する身内とのことで、保全管理の意識が強い。また、認定農業者や別集落を拠点とする法人なども引き受けを担っているものの、水利関係含めたトラブルが少ない地元集落内での引き受けが主となっている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落内での農地利用は、中心経営体である担い手が担っていくほか、集落営農化や入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れについて、水利含めた地元への理解を周知しながら促進することにより対応していく。

規模拡大を意識した集約可能な農地と農地保全に近い小規模農地との区分けを意識した集約化を検討するとともに、厚東地区全体を意識した中心経営体等への集約の方向性を推進していくことにより対応していく。